鎌田　東二先生
京都大学名誉教授、上智大学グリーフケア研究所特任教授

NHK 文化センター京都教室「日本書紀」講師

鎌田東二先生と行く

2018 年 11 月 2 日(金)～4 日(日)

待望のシリーズ第4弾！

～信濃の記紀の神々を訪ねる旅～

出雲、高千穂そして大和からも遠く離れた信濃に古事記、日本書記の神々の物語が今も生きています。「天の岩戸」が高千穂から飛来してきたという戸隠、建御名方神（大国主命の子）が力比べに負け出雲から逃げてきたという諏訪、日本武尊が信濃の国で山神が化した白鹿を殺したという物語・・・。それらの神々にまつわる物語はなにを意味しているのでしょうか。鎌田先生のご案内で古事記、日本書記を比較しながら信濃の聖地を巡ります。

	日付	行　程
1	11/2 (金)	(参考スケジュール)※運賃は旅行代金には含まれません。(2018 年 5 月 10 日現在) のぞみ 110　しなの 5 号 (関西発)新大阪駅(07:50)+++京都(08:05)+++名古屋(08:40)+++長野(11:59) かがやき 509 (関東発)東京(10:24)++++++長野(11:44) ■長野駅ご集合　12:00(時間厳守) ◎戸隠では山道及び階段がございます 長野駅--(車内お弁当のご昼食)----戸隠奥社----中社---宝光社---- 12:00　13:20/16:45 -------長野市内(泊)　※鎌田先生と行く夕食 Night オプショナル 17:40 頃　徒歩圏内:長野郷土料理(居酒屋)
2	11/3 (土)	ホテル・・・・徒歩にて・・・善光寺(参拝、見学)-----飯綱神社(里宮)------ 08:30　08:45/10:15　10:40/11:30 --名物釜飯のご昼食-----神長官守矢史料館--茅野市尖石縄文考古館- 11:50/12:30　14:30/15:20　15:50/16:30 ------諏訪湖畔(泊)　※鎌田先生と行く夕食 Night オプショナル 16:40 頃　徒歩圏内・豆腐料理店
3	11/4 (日)	ホテル-----諏訪大社四社(上社:前宮・本宮、下社:春宮・秋宮)-------- 08:00　08:30/12:45　※昼食含む ------下諏訪駅-----塩尻駅　(解散) 13:00　13:30 (参考スケジュール)※運賃は旅行代金には含まれません。(2018 年 5 月 10 日現在) 特急あずさ 18 (関東着)下諏訪駅(13:14)+++茅野(13:33)++++++新宿(15:33) 特急しなの 14　のぞみ 41 (関西着)塩尻駅(14:03)+++名古屋(16:01)+++京都(16:50)++京都(17:03)

備考）++++列車　----バス　・・・・徒歩

【戸隠神社】 戸隠神社は霊山・戸隠山の麓に、奥社・中社・宝光社・九頭龍社・火之御子社の五社からなる、創建以来二千年余りに及ぶ歴史を刻む神社。その起こりは遠い神世の昔、「天の岩戸」が飛来し、現在の姿になったといわれる戸隠山を中心に発達し、祭神は、「天の岩戸開きの神事」に功績のあった神々をお祀りしています。平安時代末は修験道の道場として都にまで知られた霊場でした。神仏混淆のころは戸隠山顕光寺と称し、当時は「戸隠十三谷三千坊」と呼ばれ、比叡山、高野山と共に「三千坊三山」と言われるほどに栄えました。江戸時代には徳川家康の手厚い保護を受け、一千石の朱印状を賜り、東叡山寛永寺の末寺となり、農業、水の神としての性格が強まってきました。山中は門前町として整備され、奥社参道に現在もその威厳を伝える杉並木も植えられ、広く信仰を集めました。明治になって戸隠は神仏分離の対象になり、寺は切り離され、宗僧は還俗して神官となり、戸隠神社と名前を変えて現在に至ります。今回は、天然記念物にも指定されている樹齢 400 年の杉並木を歩き、奥社へ。また中社、宝光社へご案内します。

【飯綱神社】 全国各地に 2500 社もあるといわれている飯縄神社の惣社が『飯縄神社（皇足穂命神社）』になります。こちらも歴史が古く、なんと西暦 270 年頃、飯縄山の山頂に天神大戸道尊をお祀りしたのが起こりといわれています。平安時代から山岳信仰の修験道と関係をもっていました。飯縄山の南側の山頂には「奥社」があり、その周りはに東南方には富士山や浅間山、西北には戸隠連峰高妻、乙妻、西岳を、北には妙高、黒姫、西南を日本アルプスの山々に取り囲まれています。日本の名だたる山々に囲まれた立地は強力なエネルギーが集まる場所と言われています。

【諏訪大社】 長野県の諏訪湖の周辺に 4 箇所の境内地をもつ神社。信濃國一之宮。神位は正一位。全国各地にある諏訪神社総本社であり、国内にある最も古い神社の一つとされています。
歴史は大変古く古事記の中では出雲を舞台に国譲りに反対して諏訪までやってきて、そこに国を築いたとあり、また日本書紀には持統天皇が勅使を派遣したと書かれています。 諏訪大社の特徴は、諏訪大社には本殿と呼ばれる建物がありません。代りに秋宮は一位の木を春宮は杉の木を御神木とし、上社は御山を御神体として拝しています。 古代の神社には社殿がなかったとも言われています。つまり、諏訪大社はその古くからの姿を残しております。諏訪明神は古くは風・水の守護神で五穀豊穣を祈る神。また武勇の神として広く信仰され、現在は生命の根源・生活の源を守る神として御神徳は広大無辺で、多くの方が参拝に訪れます。